

# 平成26年度 地域づくり総合支援事業 (サポート事業)



みなちゃん

平成26年度に実施された『福島県地域づくり総合支援事業(サポート事業)』の実績を紹介します！

## 新規事業

【一般枠:その他の地域】

## Decora しらかわ 2014



【事業団体】 Decora しらかわ実行委員会 (白河市)

【事業内容】 デスティネーションキャンペーンに向け、白河を新しいイメージで「飾り付ける」ことを目的に、プレデスティネーションキャンペーンに合わせたイベント、高校生の発想を取り入れた商店街の飾り付け、プロジェクトの集大成としてのイベント実施等により、若者に支持されるまちなかの形成を目指した。

◆Decora しらかわモデル店舗(県南地方の高校生が飾り付け)

◆プレ Decora しらかわ

◆Decora しらかわ(11月、白河駅白坂線・市民会館駐車場・谷津田川せせらぎ通り)

○洗練された食の提供 ○ステージイベント ○地元の商店による物販 ○ラーメン・そば・白河バーガー等の提供による地元の食のPR

◆谷津田川ライトアップ、竹灯籠の設置(11月)



## 新規事業

【一般枠:その他の地域】

# しらかわマルシェ



【事業団体】公益財団法人白河観光物産協会（白河市）

【事業内容】白河駅前イベント広場で「しらかわマルシェ」を開催し、プレデスティネーションキャンペーン期間を含めた白河駅前の賑わいづくりを図った。白河市はもとより西白河郡、東白川郡で採れた低農薬野菜や有機野菜、果物、地場産品などを販売し、生産者と地域住民、観光客の交流の場とするとともに、地元産品の再発見、地産地消の推進、県南地方のご当地キャラによるPR等を行った。

◆開催期日…平成26年5月～10月までの毎月1回(計6回)

◆開催場所…白河駅前イベント広場

◆販売品目…青果物・加工品・苗木・切り花・手芸品・古着・特産品・飲食等



## 新規事業

【一般枠:その他の地域】

# しらかわ伝統芸能フェスティバル



【事業団体】白河まつり振興会（白河市）

【事業内容】地域に根ざした伝統芸能の継承と避難者支援をテーマに、白河の伝統芸能である白河関の踊り流しや安珍念仏踊り等を継承し地域の絆を深め賑わい創出を図るとともに、相双地方の伝統芸能である「相馬盆踊り」を県南地域内外の避難者に踊っていただくことで、ふるさとを思い出してもらい、県南地方の方々との交流の場を提供した。

◆開催期日…平成26年8月3日(日)

◆開催場所…白河駅前イベント広場、白河駅前ロータリー、白河羽鳥線

◆内容…○伝統芸能の競演 ○白河関の踊り流し、安珍念仏踊り等 ○相馬盆踊り(避難者との交流)  
○阿波踊り、よさこい ○ミス・ミスターゆかたコンテスト



## 新規事業

【一般枠:その他の地域】

# 「やぶきじくん」ゆるキャラ製作事業



【事業団体】 矢吹町商業振興公社（矢吹町）

【事業内容】 デスティネーションキャンペーンに向け、矢吹町のご当地キャラ「やぶきじくん」の着ぐるみを作成して、県内外での矢吹町の観光や産品等のPRに活用するとともに、新たな特産品づくりの取組として「やぶきじくん焼き」の具材のアイデアを募集し商品化して、地域ににぎわいを創出し、矢吹町を全国にPRした。

◆やぶきじくん着ぐるみ作成

◆グッズ作成・観光PR

やぶきじくん



## 新規事業

【一般枠:その他の地域】

# 冒険ひろば in 棚倉



【事業団体】 特定非営利活動法人元気づくりサポートセンターなんなん福島（棚倉町）

【事業内容】 棚倉町には震災前、首都圏の小中学生が各種体験教室で多数訪れていたが、震災後は風評により激減している状況にある。震災から3年経過した今、まず比較的近距離にある都市の郡山市、水戸市をはじめ、県内外の小中学生の体験教室を増加させながら、首都圏からの誘客回復を図るため、JR水郡線を活用した歴史街歩き及び乗馬・テニス体験のイベントを行った。水郡線を利用して棚倉駅に集合し、棚倉歴史マイスターの案内のもと、城下町の街並み、亀ヶ城跡等を歩きながら、棚倉町の歴史と伝統、温かな人柄に触れるとともに、棚倉町の体験交流施設においてインストラクターの指導のもと乗馬・テニス体験を行うことで、プレデスティネーションキャンペーンとの連携を図りながら、JR水郡線の利用促進、棚倉町の観光振興及び首都圏からの小中学生の体験教室の実施数回復につなげた。

◆体験内容：歴史街歩き、乗馬、テニス



新規事業

【一般枠:その他の地域】

## 「ゴルフタウンしらかわ」推進プロジェクト



【事業団体】ゴルフタウンしらかわ推進協議会（白河市）

【事業内容】ふくしまデスティネーションキャンペーンに向け、新白河駅から1時間圏内にある16カ所のゴルフ場が連携して、ゴルフ場利用者に県南地方の観光スポットを案内することにより観光入込数や滞在時間の増加につなげた。また、県南地方の子どもたちを対象としたゴルフ体験会及びスナッグゴルフ(ゴルフの基礎を学ぶ簡易版ゴルフゲーム)の体験会を行い、小さいころからゴルフに親しむことでゴルフ愛好者の裾野を広げ、ゴルフを通じた地域活性化と交流人口拡大に取り組む「ゴルフタウンしらかわ」を地域ぐるみで作り上げた。

- ◆ゴルフ場従業員を対象とした「おもてなし・観光PR講習会」の開催
- ◆各16ゴルフ場へ「しらかわ観光PRコーナー」設置
- ◆県南地方の子どもたちを対象としたゴルフ体験会
- ◆スナッグゴルフ体験会



新規事業

【一般枠:その他の地域】

## 景観グランプリメモリアルディ事業



【事業団体】景観グランプリメモリアルディ事業実行委員会（白河市）

【事業内容】小峰城やJR白河駅等の歴史資源を生かした賑わいづくりの取り組みに対して、白河市が「都市景観大賞(都市空間部門)」の優秀賞を受賞し、あわせて(株)楽市白河が「まちづくり功労者」として国土交通大臣表彰を受けたことを記念して、優れた景観の価値を市民に改めて認識してもらうとともに、JR白河駅周辺の夜間を含めた景観の魅力を県内外に情報発信した。

- ◆消防はしご車からの都市景観撮影会
- ◆ムービングライト等を使用したJR白河駅舎のライトアップ及び周辺のイルミネーション
- ◆JR白河駅前エリア内飲食店からの夜景観賞無料体験
- ◆小峰城及び周辺地区の景観をPRする小冊子及び絵はがきの作成・PR



## 新規事業

【一般枠:その他の地域】

# 首都圏との交流による「ひがし」の風評払拭事業



【事業団体】 ひがし商工会（白河市）

【事業内容】 白河市東地区出身の首都圏居住者でつくる「白河ひがし同郷会」のネットワークを活用し、より多くの首都圏の方々に白河市東地区の農産物や特産品の魅力と安全・安心等を伝えるとともに、販路拡大へ向けた取組を行うことで、福島県産品の風評払拭を図った。

- ◆東京都内で開催される「白河ひがし同郷会交流会」を活用した白河市東地区の特産品 PR
- ◆「白河ひがし同郷会」への入会者及び紹介者へ抽選で白河市東地区の特産品をプレゼントする「ご紹介キャンペーン」の実施
- ◆白河市東地区の農産物や特産品を掲載したギフトカタログの作成と「白河ひがし同郷会」関係者等への配布及びネットワークを活用した口コミ等による PR



## 新規事業

【一般枠:その他の地域】

# ご当地キャラを利用した白河市 PR ビデオ作成とロケ地ツアー観光創出事業



【事業団体】 ローカルハリウッドプロジェクト（白河市）

【事業内容】 平成 27 年 4 月から 6 月に開催されるふくしまデスティネーションキャンペーンに向けて、白河市中心市街地への観光誘客と中心市街地活性化を目的に、観光プロモーションビデオの製作を行った。白河市中心市街地の新たなイメージを PR するため、白河市のご当地キャラを利用して、空撮を中心とした中心市街地の観光プロモーションビデオを製作し、全世界の特に若者世代を対象に PR を行うためにインターネットへ動画を公開した。また、白河市中心市街地の隠れた魅力を知ってもらうために、観光プロモーションビデオのロケ地巡りツアーを行った。

- ◆白河市中心市街地を対象とした PR 動画の作成
- ◆PR 動画のインターネット(Youtube)への公開
- ◆白河市中心市街地上空から撮影した街歩きマップの作成
- ◆空撮街歩きマップの配布による PR 動画の周知及び空撮街歩きマップを用いたロケ地巡りツアーの実施



継続2年目

【一般枠:その他の地域】

## 愛と夢を届けるクラシックコンサート Part II



【事業団体】公益財団法人立教私塾（白河市）

【事業内容】地元の中高生や社会人からなるアマチュアオーケストラとプロの音楽家の合同によるチャリティーコンサートを実施するとともに、事前に行う合同練習に中高生のプラスバンド部員を招待してプロの演奏に触れてもらうなどして、さらに白河地域の文化水準を高めた。コンサートには被災者も招待し、安らぎの時間を過ごしていただいた。平成26年度はチェリスト、ハーピストに加えて、ピアニスト、バイオリニストを招き、地元の人々の音楽に関する教養の幅をさらに広げた。

- ◆地元楽団とプロ音楽家の合同練習(8月)
- ◆コンサート(8月) ○会場…白河市民会館



継続2年目

【一般枠:その他の地域】

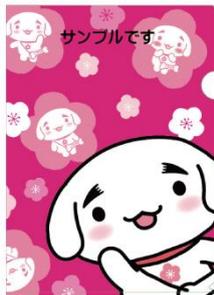
## 白河市ご当地キャラ(“しらかわん”)継続事業



【事業団体】公益社団法人白河青年会議所（白河市）

【事業内容】各地で行われるイベントに参加することで、「しらかわん」の知名度アップを図り、観光資源として白河市の歴史や特産品などへの経済効果につなげた。平成26年度はデスティネーションキャンペーンに向け、等身大パネルを作成・設置(新白河駅、白河駅、市役所等)し、「いつでも会えるしらかわん」としてPRするとともに、SNS等を活用したイベント告知等により更なる誘客を図った。

- ◆等身大パネルの作成・設置
- ◆県内外のイベントへの参加
- ◆グッズやSNS等を活用したPR活動の実施



【一般枠:その他の地域】

継続2年目

## 「小さな種、蒔いて大きな夢」 (消費者と共に風評被害払拭活動)



【事業団体】白河農協青年連盟（白河市）

【事業内容】風評被害払拭のため、農業者青年部と白河商工会議所青年部が協力した農工商連携体制で、首都圏等の人々を対象に白河で田植えから酒造りまで(発表を入れて6回)を体験する事業を実施し、首都圏の消費者と地元参加者が交流することにより、白河地方の安全・安心をPRした。平成26年度は米の作付け面積を拡大するとともに、新たにジャガイモ植え体験を行った。ジャガイモ栽培体験は白河市の友好都市である戸田市の子どもたちにも体験してもらうとともに、戸田市のイベントへの参加等を通じ交流を深めた。またプレDCにあわせて農業体験の際に白河周辺観光ツアーを実施した。

- ◆農業体験とあわせて観光PRの実施
- ◆田植え～酒造り体験



継続2年目

【一般枠:その他の地域】

## 震災関連映画の上映による映像文化事業



【事業団体】白河シネマパラダイス運営委員会（白河市）

【事業内容】震災後3年が経過し、日々風化する震災の記憶を忘れないようにするため、一般の劇場ではあまり観ることのできない震災関連をテーマとした様々な映画作品を定期的に上映して、人々が、震災を体験した感情を共有し地域の絆の大切さを再認識した。平成26年度は避難者の方々と上映する映画関係者、地元の方々との意見交換・交流会を実施した、また、デスティネーションキャンペーンの盛り上げにつながるよう、上映する映画関係者に県南地域や福島県のパンフレットを進呈するなどして、地域の魅力を知ってもらうとともに、上映会などに招待した際は観光名所を案内するなど、周囲の様々な人に県南地域の魅力を伝えた。

- ◆会場…白河市文化センター、白河市東文化センター
- ◆上映回数…各会場4回(5月/10月/11月/2月)の各2日間



継続2年目

【一般枠:その他の地域】

## 来て・見て・食べて・そして知ろう、ふくしま…!!



【事業団体】 一般社団法人あんだんて（西郷村）

【事業内容】 デスティネーションキャンペーンに向け、首都圏の方を対象に、四季折々の農作物の安全・安心を理解してもらうなどして、風評払拭を図るとともに、地元住民や避難者との意見交換を通じて“福島応援団”となっていた。平成26年度は新たに白河関の森公園で花いっぱい記念植樹を実施し、デスティネーションキャンペーンに向けたおもてなし体制の強化を図った。

- ◆高橋恒雄先生(元天皇陛下の料理人)を講師とした収穫～調理までを体験する料理教室(プレデスティネーション期間には、ミニ観光ツアーも行った。)
- ◆白河関の森公園の空きスペースを活用した花いっぱい記念植樹の実施
- ◆しらかわに避難している方々を招いた意見交換・交流
- ◆教室実施後にアンケート等を行って印刷物にまとめ、首都圏(まちなかの駅等)に配置



継続2年目

【一般枠:その他の地域】

## ふくしまにおいてよ! 写真プロジェクト



【事業団体】 NPO 法人 表郷ボランティアネットワーク（白河市）

【事業内容】 レンズを通した“ふくしまの今”を撮影し、カタクリや白柵線沿線風景など、地域の良さを再発見し広く PR するとともに、震災後も変わらぬ美しい農村風景があると知ってもらうことで、風評払拭を図った。平成26年度は、白河の中心市街地のイベント、大信地域等までエリアを広げて撮影してもらうほか、「笑顔プロジェクト」としてプロの写真家が地元の方々の「家族」「仲間」の写真を撮り PR することで、「笑顔」のマチ」づくりに取り組む。またプレDC期間に合わせて「天狗の花まつり」を実施し、東北一のカタクリ自生地としてPRした。

- ◆天狗の花まつりの開催(4月)
- ◆首都圏の方を対象にした写真撮影モニターツアーの実施(4～11月、計4回)
- ◆モニターツアー参加者が地域の良さを伝える動画等を作成しインターネットにより配信
- ◆案山子コンクールの開催(10月)
- ◆笑顔プロジェクトの実施



継続2年目

【一般枠:その他の地域】

## 買い物が自由できない高齢者や仮設住宅への 移動販売と地域交流事業

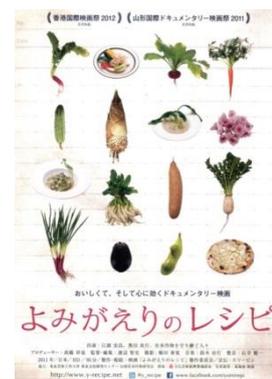


【事業団体】 社会福祉法人こころん（泉崎村）

【事業内容】 高齢者が住む団地や、避難している方が住む仮設住宅等、買い物に不自由している方々が多い地域において、直売所「こころや」で販売している新鮮野菜、障がい者福祉施設で製造した加工品等の移動販売を行った。また、移動販売や直売所の利用者、野菜の生産農家を対象として、地域の在来作物を題材とした映画の上映等を行う交流会を開催し、消費者と生産者の結びつきを強めるとともに、地域の食文化を地域ぐるみで考えるきっかけとした。

◆地元で生産した野菜や加工品等の移動販売(配達は自立を目指す障がい者が担当)

◆利用者と生産農家、地域住民の交流会



継続2年目

【一般枠:その他の地域】

## 東京六大学応援団連盟 「白河復興応援プロジェクト」



【事業団体】 東京六大学応援団連盟「白河復興応援プロジェクト」実行委員会（白河市）

【事業内容】 被災地復興のお手伝いをしたいとの熱い想いを持つ東京六大学応援団連盟の学生の方々に、県南地方の復興や風評払拭のため、応援団、チアリーディングの実演、吹奏楽部の演奏を行ってもらうとともに、放射性物質検査の現場や直売所の見学、地元農産物の試食等による農産物の安全性を理解してもらうこと等により、若い力を借りて「元気」と「安全・安心」を県内外に情報発信した。

◆応援団・チアリーディングの実演、吹奏楽部の演奏

◆大学生と地元高校生の交流(応援指導、進路指導、大学の説明、質疑応答)

◆学生による放射線物質検査の現場や直売所の見学

◆学生による地元農産物の試食



継続3年目

【一般枠:その他の地域】

## 白河関通行手形みちのくプロジェクト



【事業団体】ライダーズピット白河関（白河市）

【事業内容】震災後、観光客が激減する中、「ライダー」来県者は減少していないことから、「ライダー」をターゲットに誘客拡大をめざし、みちのくの玄関口である白河の関を「ライダーズピット(ライダーのツーリング基地)」として整備し、通行手形発行等の誘客策を展開した。平成26年度は、屋根つき駐輪場を設置しライダーの受け入れ体制を整備するほか、プレdestination期間に合わせて「だるまの絵付け体験」など女性の視点を取り入れたレディスライダーイベントを実施し、しらかわの魅力を広く伝えた。

- ◆屋根付き駐輪場の設置(白河関の森公園駐車場内)
- ◆レディスライダーイベントの実施(6月)
- ◆奥の細道通行手形発行



継続3年目

【一般枠:その他の地域】

## つなごう・ふるさと中島・絆・交流会



【事業団体】ふるさと中島・川原田を想う会（中島村）

【事業内容】震災で元気をなくした地域に活力を与え、地域コミュニティを深化するため、途絶えてしまった地域の伝統行事を復活させるとともに、避難住民と地域住民の交流を通じて「ふるさとのありがたみ」を再発見する事業に取り組んだ。平成26年度は、さらに参加者を増やし、地域の絆を強めた。

- ◆花いっぱい運動の実施
- ◆伝統行事「熊野溝」の再興
- ◆伝統行事「やぐら太鼓(復興・豊年盆踊り大会)」開催(避難者招待)



継続3年目

【一般枠:その他の地域】

## いきいき子供広場事業



【事業団体】マイタウン白河運営促進協議会（白河市）

【事業内容】夏休みの期間にマイタウンで白河市を中心とした近隣町村の子ども達(小学3年生以下)とその家族を対象に、室内でおもいきり遊べる場所を提供し、マイタウンの利活用・市街地活性化を図った。また、体験企画として白河だるまの絵付け教室や白河窯での陶芸教室を実施した。平成26年度は、デスティネーションキャンペーンに向けて子どもたちの体験教室の一環として地元食材を使った白河スイーツ開発にも取り組んだほか、親子での体験イベントを増やして親子の絆を深めた。

- ◆室内における子どもの遊び場の提供
- ◆親子体験教室の実施(手作りキャンドル、クラフト、アレンジフラワー等)
- ◆白河スイーツ開発



継続3年目

【一般枠:その他の地域】

## ～自転車で新しい風を～ 「さあいこう!!白河 Project」



【事業団体】白河商工会議所青年部（白河市）

【事業内容】自転車を白河の特色として観光に活用し、全国の人を呼び込み、風評払拭と中心市街地の活性化を図った。また、前年度までの実績を踏まえて、青少年自転車競技者育成チームを発足させるため、早い段階から自転車に慣れ親しむことのできる環境づくりに取り組んだ。

- ① cycle road race 「城 d' 白河 2014」
  - (1) 日時：平成26年10月26日(日) 9:00～14:00
  - (2) 場所：白河駅前道路及びJR白河駅前イベント広場

- ② 自転車競技の魅力発見イベント「風を感じよう！」

スポーツ少年団(青少年自転車競技者育成チーム)を発足させるための足がかりとして、また「城 d' 白河 2014」のPRのためにイベントを開催した。自転車競技に慣れ親しんでもらうために、競輪選手や高校生の練習風景を見てもらうほか、各自持ち込んだ自転車で、実際にバンクを走行してもらった。

- (1) 日時：平成26年7月26日(土)



継続3年目

【一般枠:その他の地域】

## しらかわからふくしまの未来創造 Shirakawa Week



【事業団体】 Shirakawa Week 実行委員会（白河市）

【事業内容】 県南地方出身の大学生等が地域の高校生との協働として、地域資源の発掘や地域情報発信のためのワークショップ等に取り組み、大学生活等で学んだ知見を地域に還元して、新しい地域活性化モデルの提案につなげた。

- ◆大学生等と地域の高校生による、地域情報発信のためのワークショップ
- ◆地域でのフィールドワーク及び社会人へのインタビュー
- ◆地域の魅力を発見するための撮影会(地元写真サークルとの協働)
- ◆白棚線沿線の歴史文化探索ツアー
- ◆情報発信に関するシンポジウム
- ◆ご当地キャラこども夢フェスタ会場における取り組み内容のPR



継続3年目

【一般枠:その他の地域】

## 地震・原発災害復興支援「ふるさと元気化事業」



【事業団体】 地震・原発災害復興支援「ふるさと元気化事業」実行委員会（矢吹町）

【事業内容】 文化活動を通してふるさとを元気にするため、避難者と地域住民とが交流し、絆を深め、精神の復興を図った。平成26年度は、前年までの実績を踏まえ、芸術文化活動、産業の育成、自然環境の保全、青少年の健全育成事業等を実施した。

### ①子供達の音楽教育元気化事業及び東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団矢吹町公演

小・中・高校生を対象に、プロの音楽家による楽器奏法について講演会を実施した。また、仮設住宅に居住する地震・原発避難住民にも参加してもらった。さらに、被災した人々の「気持ち(こころ)の復興」のため、小・中学生と避難者を招待しフルオーケストラによるコンサートを実施した。

(1) 講習会(平成26年7月～9月) (2) オーケストラコンサート(平成26年12月)

### ②芸術文化活動による交流事業

(1) 陶芸ワークショップ野焼き体験(平成26年8月～11月) (2) 矢吹町復興祭への参加及び陶芸給付け体験(平成26年9月) (3) 地元産農産物(そば)と芸術を楽しむ会(平成26年10月～11月)

### ③平成26年度の新事業

企画展出品者による昆虫ワークショップと展示ホールを使用したコンサートを開催した。また、陶芸体験で作陶した抹茶碗を利用したお茶会を開催した。

(1) 子供のための昆虫教室、及び、ギャラリーミニコンサート(平成26年10月) (2) 新春茶会(平成27年1月～2月)



【一般枠:過疎・中山間地域】

新規事業

## 持続可能な東白川山村交流 「若者世代ライフシェアリング」事業



【事業団体】NPO 法人 あぶくまエヌエスネット（鮎川村）

【事業内容】首都圏在住の若者を対象に東白川の農山村での農業・林業等体験、首都圏での出前講座等を行い、若者の社会貢献活動のひとつとして東白川と継続的な交流が行われる仕組みを構築した。

- ◆首都圏の若者を対象とした体験交流事業、(農業・林業体験、浜通りの被災地視察等)
- ◆首都圏での出前講座
- ◆インターネット上で配信する活動動画作成
- ◆鮎川村が実施している首都圏の大学の実習受入事業参加者との相互交流



新規事業

【一般枠:過疎・中山間地域】

## 山水花の町「はなわのダリア」アピール事業



【事業団体】「はなわのダリア」アピール実行委員会（埴町）

【事業内容】デスティネーションキャンペーンに向けて、埴町の知名度をさらに向上させるため、特産品のダリアによる地域づくりをPRするご当地キャラ「ダリちゃん」を活用しながら県内外においてPR活動を行うとともに、ダリアの販路拡大につなげるための取り組みを行った。

- ◆町民ぐるみによる「チームダリちゃん」の結成及び県内外のPR活動
- ◆子ども向けの「ダリちゃんの歌」及びダンスの作成
- ◆子どもたちがダリちゃんの絵を描く絵画教室



## 新規事業

【一般枠:過疎・中山間地域】

# 東日本大震災復興-安心・安全「ふくしま・はなわ」の発信 大学との連携による特産品開発事業



【事業団体】 一般財団法人天領の郷はなわ（埴町）

【事業内容】 東京都葛飾区との防災災害協定が縁で交流のある東京聖栄大学と連携して、埴町の野菜を利用した特産品の開発を行うとともに、埴町が葛飾区の商店街に開設しているアンテナショップ(はなわ だりちゃんショップ)を活用した試作品の販売及びPR活動を行い、安心・安全な「ふくしま はなわ」を首都圏に向けて発信した。

◆竹粉を使用した農法でブランド化を目指している「はなわオリジナル野菜」を利用した商品開発、販売、PR

◆大学と連携した都市住民のニーズ調査、パッケージの開発、加工

◆大学と連携した講習会の開催(埴町及び東京聖栄大学 各2回)



## 継続3年目

【一般枠:過疎・中山間地域】

# 「クロカンを活用して走る・泊まる・また来る」事業



【事業団体】 鮫川村合宿受入協議会（鮫川村）

【事業内容】 平成24年度にオープンしたクロスカントリーコースを活用してスポーツ合宿の誘致を図り、地域経済と交流人口を活性化させ魅力ある地域として県内外に発信した。アドバイザー(県陸上競技連盟役員等)からの合宿受け入れやコース管理等の指導、先進事例調査等を行い、大学生等の合宿受入拠点化へ向けて取り組んだ。

◆アドバイザー委託

◆施設誘導案内看板設置

◆コース確認業務



新規事業

【集落等活性化枠】

## 「花の里川上」花木植栽事業



【事業団体】花の里川上（埴町）

【事業内容】埴町川上四区の西側の丘には小さな段々畑が広がり、隣接する東浄寺と相まって優れた景観を形成していたが、区民の高齢化に伴い耕作放棄地となり、荒地が目立つようになってきた。このため、既存の樹木の伐採及び整地を行い、区民の手により花木を植栽し、「花の里川上」として失われた美しい景観を取り戻すとともに、丘を通る小道をウォーキングコースとして整備し、周知を図ることで多くの人々に来てもらい、地域の活性化を図った。

- ◆栗林、けやき林の伐採・整備
- ◆花木の植栽
- ◆ウォーキングイベントの実施(秋)



継続2年目

【集落活性化枠】

## 山・水・花ふるさと花街道づくり事業



【事業団体】東河内二区（埴町）

【事業内容】集落の活性化を図るために平成24年度に策定した集落等再生計画に基づいて、沿線への桜やつつじの植樹、水量豊富な清水、美肌に効果があるとされる旧湯治場の鉱泉等の整備を進め、各スポットの魅力を向上させ、観光誘客を図り、集落の活性化につなげた。平成26年度は道路沿いのさくら、つつじ植樹等に加えて、滝見台(東屋)の整備を進め、地域住民の憩いの場、さらには県内外からも集客を見込めるような魅力的な観光スポットに整備した。

- ◆花街道さくら・つつじ植樹
- ◆滝見台周辺整備、滝見台(東屋)整備



継続3年目

## 矢塚地区活性化事業



【事業団体】 矢塚区（埴町）

【事業内容】 矢塚地区は、平成 22 年度に「大学生の力を活用した集落活性化事業」で東日本国際大学生から地域活性化の提言を受けた。

- 〈地域活性化の方向性〉
- ・観光振興拠点の整備
  - ・都市交流を行い、定住化につなげていくためのイベント実施
  - ・地域特産品の研究、開発による地域産業の育成

これらの提言に基づき、人々が集う花の名所を目指し、集落南西部の森林に、ダリア・ツツジ植栽、遊歩道・展望台整備等を行うとともに、農産物加工による矢塚ブランド開発を行った。また、「矢塚分校跡」を活用し、交流の場づくりを進め、集落活性化のため埴町が都会から招致して矢塚地区に移住した「地域おこし協力隊」の協力も得ながら、地域活性化を図った。平成 26 年度は、引き続き交流拠点としての分校の魅力向上を図るとともに、分校を活用した特産品開発、遊歩道の整備等を進めた。

◆矢塚分校跡を活用した産品開発 ◆希望の森での遊歩道整備 ◆集落住宅によるダリア植栽

